

『<sup>わら たて</sup>藁の楯（監督：三池崇史）』ハリウッド・リメイク ついに始動！

日本テレビと『シンデレラ』『アバウト・ア・ボーイ』のクリス・ワイツが共同企画開発

脚本は『エクスペンダブルズ3 ワールドミッション』『エンド・オブ・ホワイトハウス』のクレイトン・ローゼンバーガー&カトリン・ベネディクト夫妻が担当

日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 大久保好男、以下 日本テレビ）は、株式会社 All Nippon Entertainment Works（本社：東京都港区、代表取締役 サンフォード・R・クライマン / 清水久裕、以下 ANEW）及び、クリス&ポール・ワイツ兄弟率いる映画製作会社 Depth of Field（デプス・オブ・フィールド、以下 DOF）と共同で、大ヒット作『藁の楯 わらのたて』のハリウッド・リメイクの開発に着手致しました。

プロデューサーを務めるのは映画『藁の楯』のプロデューサーである日本テレビの北島直明と、DOF のクリス・ワイツ氏、アンドリュー・ミアノ氏、ダン・バルゴイエン氏。脚本は『エクスペンダブルズ3 ワールドミッション』『エンド・オブ・ホワイトハウス』のクレイトン・ローゼンバーガーとカトリン・ベネディクト夫妻が手掛けます。

オリジナル映画『藁の楯』は『BE-BOP-HIGHSCHOOL』シリーズで知られる漫画家の木内一裕氏の小説家デビュー作品を、三池崇史監督が映画化したサスペンス・アクション。10億円の懸賞金をかけられた殺人犯を護送することになった5人の刑事たちの緊迫した戦いを描いています。大沢たかお、松嶋菜々子、藤原竜也、山崎努ほか豪華キャストも話題となった本作は興収18.3億円と国内で大ヒット。2013年のカンヌ国際映画祭コンペティション部門に公式選出されています。さらに、2016年1月16日には原作小説『藁の楯』の英語翻訳版が全世界で Vertical 社より出版される予定です。



日本テレビの北島プロデューサーは、「日本国内での制作当初から、本作のスケール感・テーマ性は世界でも通用する可能性を確信していた」と語り、さらにハリウッド・リメイクのオファーが殺到する中で「ANEW と DOF との共同開発プロジェクト内容が具体的で、実現性が一番高いと思いました。そして、ANEW の日本スタッフ、US スタッフや、DOF のワイツ氏、ミアノ氏、バルゴイエン氏の『藁の楯』に対する強い熱意を感じた事がパートナーに選ばせて頂いた最大の理由」と、今回の企画開発に期待を寄せています。

DOF のクリス・ワイツ氏は、「原作で最も印象深かったのが、アクション・サスペンスが基盤の作品でありながら、モラルを厳しく追求する物語だという点です。法と正義のグレーゾーン、そして殺人犯の人権について分析をした作品です。そこには、簡単な答えはありません。私たちは、観客が『自分だったらどうする？』と議論をしながら劇場を後にすることを狙いたいと思います」とリメイク作品への意気込みを語りました。また、ダン・バルゴイエン氏は、「北島さんをはじめとする日本テレビと ANEW の皆さんとご一緒できて嬉しいです。最高のパートナー関係を築いていきます」と語っています。



Photo by David Roker

ANEW のアンマリー・ベイリー氏も、「三池崇史監督の映画は緊張感にあふれ、アクション満載で、冒頭から観客の心をわし掴みにするものでした。その作品を基に、有能な脚本家のローゼンバーガー氏とベネディクト氏、そして実績のある DOF が加わり、大ヒットリメイクを生み出す要素が揃ったと言えます」と抱負を述べました。

本作の公開は2017年の秋頃を目指しています。

## オリジナル映画紹介：『藁の楯』



「この男を殺してください。御礼に 10 億円差し上げます。」

前代未聞の新聞全面広告に、日本中が揺れた！ 広告主は巨額の資産を持つ財界の大物・蜷川。幼い孫娘を惨殺した男、清丸の首に懸賞金を懸けたのだった。命の危険を感じた清丸は、潜伏先の福岡で出頭する。全国民の殺意が向けられる中、48 時間以内に清丸の身柄を警視庁に移送するため、5 人の SP と刑事が選ばれた。護衛対象は“人間のクズ”。命懸けの移送が始まる…。はたして、人間のクズを命懸けで守る事に価値はあるのか？ それが“正義”なのか？ SP チームは無事に清丸を警視庁に移送することが出来るのか？ 物語は誰も予測出来ない衝撃のクライマックスを迎える！

<http://www.warnerbros.co.jp/waranotate/index.html>

監督：三池崇史 脚本：林民夫

出演：大沢たかお 松嶋菜々子 岸谷五朗 伊武雅刀 永山絢斗 余貴美子／藤原竜也／山崎努

©木内一裕／講談社 ©2013 映画「藁の楯」製作委員会

『藁の楯 わらのたて』

ブルーレイ ¥1,714+税/DVD ¥1,143+税

ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメントより発売中

©木内一裕／講談社 ©2013 映画「藁の楯」製作委員会

## 原作者紹介：木内一裕（きうち・かずひろ）氏



**プロフィール：**1960 年福岡生まれ。1983 年、『BE-BOP-HIGHSCHOOL』で漫画家デビュー。2004 年、初の小説『藁の楯』を上梓。同書は 2013 年に映画化もされた。他の著書に『水の中の犬』『アウト&アウト』『キッド』『デッドボール』『神様の贈り物』『喧嘩猿』（講談社文庫）、『バードドッグ』『不愉快犯』（講談社）がある。

**木内氏からのコメント：**「今回決定した脚本家の選定から、ど派手なアクション映画になることは間違いないでしょう。アメリカとは国情も大きく異なるため、ハリウッド版の映画では全く展開の違うストーリーになることと思いますが、原作者としては小説『藁の楯』のテーマを重視し、新たな物語に反映していただけることを期待しています。そしてこのプロジェクトが、私の小説と新たな読者との出会いの機会になってくれることを願っています。」



### 小説『藁の楯』 内容紹介：

「生きる価値のない男」を守る。命を懸けて。

「人間の屑」の楯になることを拒否した警察官たちが直面する絶望の果ての最悪とは!?

緊迫のエンターテインメント！

2 人の少女を惨殺した殺人鬼の命に 10 億の値がついた。いつ、どこで、誰が襲ってくるか予測のつかない中、福岡から東京までの移送を命じられた 5 人の警察官。命を懸けて「人間の屑」の楯となることにどんな意味があるのか？ 警察官としての任務、人としての正義。その狭間で男たちは別々の道を歩き出す。

《英語版》

出版社：Vertical, Inc. / 発売予定日：2016 年 1 月 26 日(プリント、電子版同時発売)

英語タイトル：The Shield of Straw / 北米中心に全世界で発売予定

## ■Depth of Field (デプス・オブ・フィールド)

1999年、『アメリカン・パイ』で大ヒットデビューを果たした監督のクリス&ポール・ワイツ兄弟及びアンドリュー・ミアノによって設立された映画制作会社。設立から15年間、開発担当のダン・バルゴイエンと共に、製作・監督・脚本など様々な役割を担いながら数々のヒット作を残してきた。DOFクレジット作品は『アバウト・ア・ボーイ』『イン・グッド・カンパニー』『ライラの冒険 黄金の羅針盤』『キミに逢えたら!』『明日を継ぐために』『アドミッション 親たちの入学試験』など。直近ではクリス・マッコイの監督デビュー作品『Good Kids』(原題)を完成させた。LAを拠点とし、フォックステレビジョンスタジオとファーストルック契約を締結している。2015年8月21日より、ポール・ワイツが脚本、監督を手掛けた『Grandma』(原題)(配給: Sony Pictures Classics)が全米公開中。

## ■脚本家: クレイトン・ローゼンバーガー氏、カトリン・ベネディクト氏

アクション大作『エンド・オブ・ホワイトハウス』(主演: ジェラルド・バトラー)と、2016年に全米公開される続編『London Has Fallen』(原題)を執筆。以降、ヨーロッパ・コープ製作の『Twice』(原題)と、テレビゲーム『The Drowning』を原作としたリメイク実写映画(製作: Radar Pictures)の脚本も手掛けた。『エクスペンダブルズ3 ワールドミッション』では共同執筆者として脚本を手掛けている。

## ■株式会社 All Nippon Entertainment Works (略:ANEW)



東京とハリウッドにオフィスを構えるANEWは、世界的なフィルムメーカーやハリウッドのクリエイター、ハリウッドスタジオと映画、小説、アニメ、漫画、玩具など魅力あるコンテンツを保有する日本のパートナー企業を結びつけ、グローバルなエンターテインメント作品を企画開発する企業。ANEWは、官民出資の投資ファンドである株式会社産業革新機構(INCJ)からの出資を受けて設立された。

DOFとの共同プロジェクトは『藁の楯』のほかに松竹のホラー映画『オトシモノ』とWilcoのサスペンス・スリラー映画『臍帯』との3作品。それに加え、マイク・メダヴォイ氏と幻冬舎コミックスとで共同開発する『6000 - ロクセン』、株式会社フィールズとベッドフォード・フォールズ・カンパニーのエドワード・ズウィック氏とマーシャル・ハースコヴィッツ氏とで共同開発する『ソウルリヴァイヴァー』、そしてヴァルハラ・エンタテインメントのゲイル・アン・ハード氏と東映アニメーションとで共同開発するロボットアニメ『ガイキング』の実写映画版等の企画開発を行っている。

<http://www.an-ew.com>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 All Nippon Entertainment Works 広報

TEL: 03-5733-0773 FAX: 03-5733-0776

E-mail : [info@an-ew.com](mailto:info@an-ew.com)